

●ものづくりセンター新設

アロン化成(株) ものづくりセンター建設プロジェクト 前野 泰啓

1 はじめに

アロン化成ではプラスチック製品を中心としたカタチある商品を取り扱っております。この事業においては、如何に迅速に消費者ニーズを捉え、商品を提供するかが、その業績に大きな影響を与えるため、情報収集力と開発スピードが極めて重要な要素となります。そういった中、アロン化成では、前述の要素を含めた総合的なものづくり力アップを目指す「ものづくりパワーアッププロジェクト」を結成、議論を重ねた結果、マサチューセッツ工科大学トーマスアレン教授が提唱する30m理論※を採用した「ものづくりセンター」を建設することとなりました。そこで本稿では「ものづくりセンター」について、そのコンセプトの内容を中心に紹介いたします。

※30m理論

人が継続的にコミュニケーションをとることが出来るのは周囲30m以内の人間に限られるという考え方。また、30m理論に基づく直接的なコミュニケーション(ダイレクト・コミュニケーション)の拡大により、研究開発担当者の知的創造性は飛躍的に向上するという考え方。



【イメージ (CG) 1】ものづくりセンター全体

2 ものづくりセンターの役割(ものづくりの原点)

- 事業変革…開発提案型メーカーとして、ものづくり力を強化し、事業の変革を生み出す場であること
- 情報発信…ものづくりを通じて社会に貢献する企業としての、情報発信の場であること。

- 知的創造…ものづくりの楽しさ、成果を社員が分かち合うことの出来る知的創造の場であること



【イメージ (写真) 2】センター前面

3 コンセプトの実現

- ① 研究開発部門の集約
ものづくりセンターへ研究開発部門を集約することにより、部門間相互コミュニケーションの促進、市場のスピードを捉えるフレキシブルな体制構築を可能とします。その結果、研究開発担当者の知的創造性が飛躍的に向上し、新しいものを生み出す環境が整います。
- ② 開かれた対話型施設(市場との対話)
ものづくりセンターでは消費者を中心とした一般の方とのコミュニケーションの場として各種施設を設けております。
 - ・ レクチャールームおよび商品展示ルーム
訪問者にアロン化成を知っていただくため、大型ディスプレイを備えたレクチャールームおよび歴史的商品や最新商品を紹介する商品展示ルームを備えております。訪問者はこの設備を利用することにより、アロン化成の商品を知るだけでなく、品質・安全性への取り組みやその商品開発コンセプトを知ることができます。



【イメージ (CG) 3】商品展示ルーム

・ 体験ハウス

目で見て、手にとって、使ってみることを目的とした、アロン化成の商品を五感で感じることでできる施設として、実際の戸建て住宅をセンター内部に配備します。こちらでは介護用トイレの模擬利用や手すりの施工、また、天井の無い1Fから2F床下の配管状況を直接見ることが出来る施設等、訪問者が実際にアロン化成の商品を利用・設置・施工することが可能です。

・ 大型会議室

介護用品事業の代理店組織「安寿会」や管材事業の代理店組織「アロン会」等の団体利用が可能な大型会議室を備えます。

・ グリーンエリア

商品展示の一環として、センター敷地内にエクステリア商品設置スペースを配備します。また、こちらではシルバーカーなど商品の安全性や品質を保持する為に社内で行われるテストの様子を知り、アロン化成の「品質へのこだわり」を知っていただくことができます。



【イメージ (CG) 4】グリーンエリア

③ 環境配慮型施設・ユニバーサルデザイン

消費者への情報発信基地であることから、環境への配慮を十分に行い、また、介護福祉に携わる企業として「人にやさしい」をテーマとした施設となっています。

・ 太陽光発電、LED照明

施設各所に設置した太陽光発電パネルにより、自然エネルギーを最大限活用できる設備となっております。また、省エネルギーを実現するため、LED照明を最大限利用しております。

・ 自然換気を利用した空調

空気の流れを考慮した施設となっており、空調利用を最小限に抑える仕組みとなっております。

・ ユニバーサルデザインの適用

訪問されるあらゆる方が使いやすい施設とする為、段差部へのスロープ設置や多目的トイレの設置等、ユニバーサルデザインを全面採用しています。

4 おわりに

ものづくりセンターについて、ここまでその機能や役割、コンセプトを紹介しました。ただ、この施設はまだ単なる建造物であり、建設しただけではその機能や役割を果たし、そのコンセプトを実現したとは言えません。今後はその組織をいかに運営し、また、市場の環境変化にいかに対応していくかが重要な課題となります。そういった意味からも是非一度、ものづくりセンターを訪問していただき、そのコンセプトの実現にご助力いただきたくよろしく申し上げます。

<建物概要>

場 所：愛知県東海市新宝町30-6

(アロン化成名古屋工場西側隣接地)

延床面積：約7,000㎡

施設構成：研究開発施設、展示体験施設

特 徴：全館バリアフリー、エコロジー配慮型施設



【イメージ (写真) 5】エントランスおよび研修・体験ルーム